

科名 血液内科

血内210

対象疾患名 FLT3.陽性 急性骨髄性白血病

プロトコール名 DNR/AraC+ヴァンフリタ

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	・	・	・	21
1	CV	側管	グラニセトロンバッグ アロカリス	1mg 235mg	30分かけて	↓											
2	CV	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて		↓	↓									
3	CV	側管	ダウノマイシン 生理食塩液	60mg/m <sup>2</sup> 100mL	30分かけて 壊死性抗がん剤	↓	↓	↓									
4	CV	側管	キロサイド 5%ブドウ糖液	100mg/m <sup>2</sup> 250mL	持続静注 24時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓					
5	内服	内服	ヴァンフリタ	35.4mg	1日1回											↓	↓

★1クール=28日間

～MEMO～

催吐リスク3(30%以上90%未満)

最大2サイクル

・ヴァンフリタ

8-21日目の14日間併用。

定期的な心電図検査。

強いCYP3A4阻害剤(イトラコナゾール、クラリスロマイシン、ポリコナゾール等)と併用する場合、17.7mg/日へ減量。

・寛解導入療法期サイクル2

7+3療法(シタラビン100mg/m<sup>2</sup>を7日間静脈内投与し、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤を3日間静脈内投与)と5+2療法(シタラビン100mg/m<sup>2</sup>を5日間静脈内投与し、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤を2日間静脈内投与)

のいずれか1つを選択し、これら化学療法レジメン完了後、8日目又は6日目からヴァンフリタを1日1回14日間併用。